

直播特報（第1号）

令和6年4月15日
黒東地域農業技術者協議会

～播種後の水管理と除草剤散布～

直播栽培では、苗立ちの確保と雑草対策が重要です。播種方法に応じた水管理のポイントを理解し、適期の除草剤散布に努めましょう。

I. カルパー直播栽培

ポイント！
しっかり乾かす！

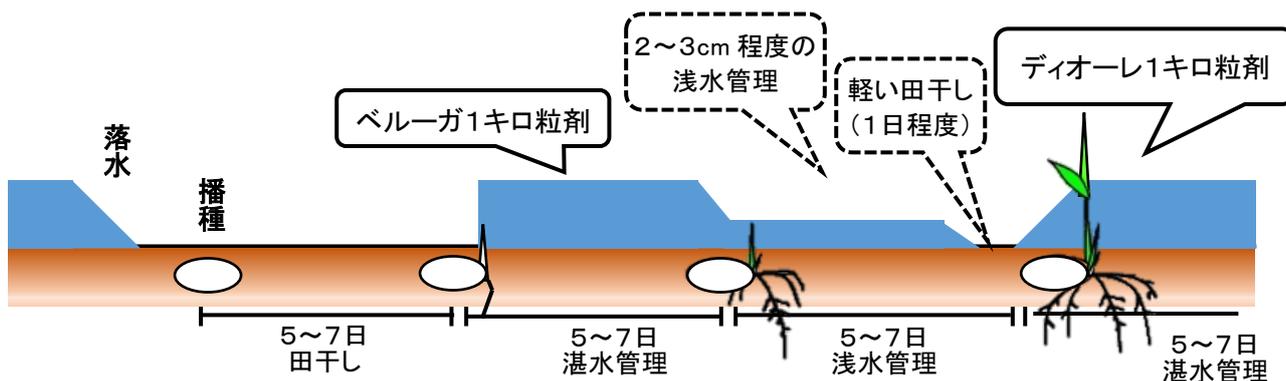
1. 播種後の水管理

- ・ほ場全体の土壌表面に短い亀裂が入るまで田干しを行いましょ（播種後5～7日間程度）。
- ・水がたまっている場所は、排水溝を増設し、確実に田干しを行いましょ。



2. 除草剤の散布

- ・除草剤は、使用時期の範囲内で遅れず散布しましょ。
- ・田面の亀裂が大きい場合は、ほ場に入水した後、減水が落ち着いてから散布しましょ。



【播種後の水管理と除草剤散布のスケジュール】

散布	時期	除草剤名（散布量）	備考
1回目	播種後5～7日頃	ベルーガ1キロ粒剤 (1 kg/10a)	入水1～2日後に散布
2回目	1回目の約2週間後 (イネ本葉1葉期以降)	デオーレ1キロ粒剤 (1 kg/10a)	気温が高い時は雑草の生育が早まるので遅れないよう散布

※除草効果を高めるため、除草剤散布後5日間程度は湛水を保ち、7日間は落水しない！

3. 田干し後の水管理

- ・出芽後は水深2～3cm程度の浅水管理を徹底し、初期分けつの確保に努めましょ。
- ・チラ干しになりやすいので注意しましょ。
- ・風の強い日や低温の時は、深水にしましょ。
- ・鳥害の発生に注意しましょ！

- ・スズメの場合⇒入水（水深3～5cm）
- ・カモの場合⇒落水

【直播栽培における省力的病虫害防除】

協議会では、ルーチンシードFS（いもち病）、ヨーバルシードFS（イネドロオイムシ、イネミズゾウムシ、キリウジガガンボ、ニカメイチュウ）を処理したカルパーコーティング種子を供給していますので、初期害虫や葉いもち病の防除は必要ありません。

Ⅱ. 鉄コーティング直播栽培

ポイント！
播種時に除草剤散布

1. 播種後の水管理

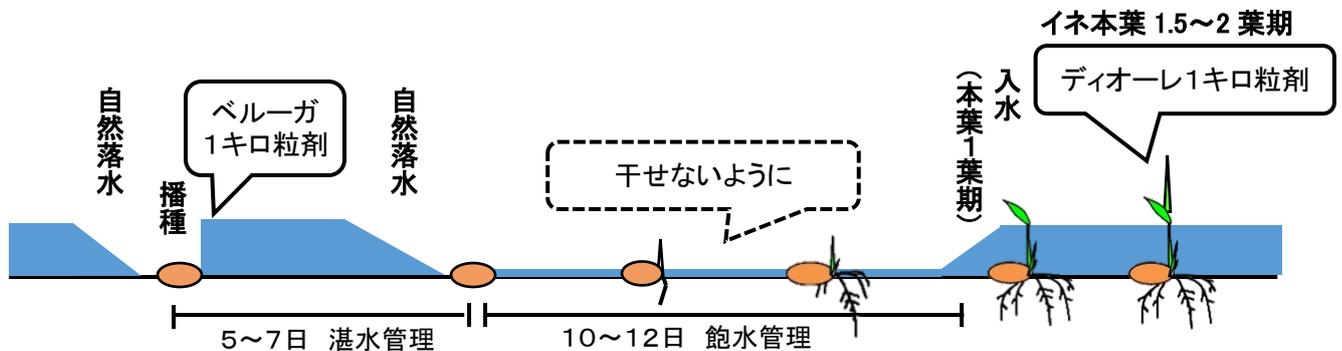
- ・播種後5～7日は深水（水深5cm程度）の湛水管理を行い、播種時に散布した除草剤の効果を高めましょう。
- ・湛水管理後に自然減水した後は、イネ本葉1葉期まで飽水管理（ヒタヒタ水）を行います。
ただし、スズメの飛来が確認される場合は、湛水して被害を防止しましょう。
- ・播種後、高温で雨が少ない場合などに表層はく離（表土が膜状に浮き上がる現象）が見られた場合は、田干しを行きましょう。



表層はく離

2. 除草剤の散布

- ・播種同時または播種直後に除草剤を散布するとともに、稲の1.5葉期頃に2回目の除草剤を遅れずに散布して、雑草防除を徹底しましょう。



【播種後の水管理と除草剤散布のスケジュール】

散布	時期	除草剤名（散布量）	備考
1回目	播種時	ベルーガ1キロ粒剤 (1kg/10a)	播種後すみやかに入水
2回目	1回目の約2～3週間 (イネ本葉1.5～2葉期)	デオレ1キロ粒剤 (1kg/10a)	気温が高い時は雑草の生育が早まるので遅れないよう散布

Ⅲ. キリウジガガンボに注意

- ・幼虫の発生と出芽のタイミングが一致すると、幼虫が種籾の内部を食べたり、幼根や幼芽が食害され、浮き苗の発生や苗立ち不良となります。
- ※排水不良田や有機物施用田では被害が多いので、毎年出芽不良が発生する方は、営農指導員や振興センターにご相談ください。



幼虫

JAみな穂営農センター TEL 74-2440

JAみな穂中央支店経済課 TEL 72-5379 JAみな穂西部支店経済課 TEL 72-1162

JAみな穂南部支店経済課 TEL 78-1167 JAみな穂あさひ支店経済課 TEL 83-3212

新川農林振興センター農業普及課 TEL 52-0094